

連峰

Renpoh

No. 319

発行日●平成 29 年 1 月 31 日
発行人●飯田メディカルヒルズ
編集 IMH 広報委員会
長野県飯田市毛賀 1707 番地
TEL 0265 - 26 - 8111 (代)



広域医療法人 輝山会

年賀会にて、この度の「広域医療法人」としてのスタートについてご披露させていただきました。



2017年 年賀会

年頭のご挨拶

広域医療法人輝山会 理事長 土屋 隆



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに、輝かしい新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

皆様には、年初、公私共に何かとご多用のところを、かくも、賑々しくご来臨賜りまして、誠に有り難く、厚く御礼申し上げます。

昨年は、世界中がテロの恐怖に怯え、ここかしこで、紛争が勃発しております。まさに現実には、戦争状態にあると言っても、過言ではありません。また、イギリスは、国民投票の結果、EUからの離脱が決まり、アメリカでは、一昨日、トランプ氏が大統領に就任されました。いずれの国も、内向きの保護主義を唱え、また、往時の繁栄を「もう一度」と夢みる国民を煽る過激な発言が、国論を二分する大変革をもたらしています。

さて、この結果は、わが国の、特に経済への影響はどのようなのでしょうか。

国内における明るいニュースとしては、大隈良典教授がノーベル生理学・医学賞を受賞されました。また、リオ・オリンピックでは、史上最多の41個のメダルを獲得しました。悲しいニュースは、地震、台風、大雨、洪水、大火などの大災害により被災された多くの

人々が、この記録的と言われる寒波襲来の中、今なお不自由な厳しい生活を余儀なくされておられます。

この度、第7次医療法改正があり、本年4月に施行されます。主な改正点のひとつは、地域医療連携推進法人制度の創設です。また、地方分権改革・「第4次一括法」といわれる法律が施行され、従来は厚生労働大臣の許認可事項であったものが、当該医療法人所在地の、県知事にその権限が移譲され、医療法人を複数の都道府県にわたって設立、あるいは合併することも可能となりました。

私どもでは、早速、念願の医療法人輝山会と医療法人名古屋東栄クリニックの合併の手続きに入り、昨年12月1日に合併が成り、あらためて広域「医療法人輝山会」としてスタートできました。両医療法人は、合併により、さらにそれぞれの活動範囲が広くなり、人事交流をはじめ双方の特性・専門性を活かした、より質の高い地域医療が提供できるものと、期待いたしております。

以上の、医療法の改正をはじめ、所要の法令整備の意図は、「地域」と「連携」の二つをキーワードにしており、まさに、私どもIMHの、40年来の地域に《保健・医療・福祉を三位一体としたサービスを提供する》と言う、基本理念に合致するものであります。

そこで、あらためて、IMHの基本姿勢を統一されたイメージやデザインとして発信するために、いわゆるCorporate Identity (CI)を一新しました。

まず、IMHの成り立ちについて説明させていただきます。

その端緒となりましたのは、輝山会記念病院創立10周年記念事業として、名古屋の中心、栄に、健康診断を専門とする医療機関を、設立したことに始まります。

以後、診療所（3ヶ所）、訪問看護ステーション及び老人保健施設を開設しました。更に、社会福祉法人悠水会を設立して、特別養護老人ホーム、デイサービスセンターを開設してまいりました。

当初の〈CI〉は、この飯田クリニック（図1）から始まり、名古屋東栄クリニックは、上層階をホテルに下層階をクリニックとした複合ビルとして、『Villa de Sante 健康の別邸』（図2）と呼称し、悠水会は、山紫水明の地に位置している（図3）ことを表しております。

先ほど、久保田幸枝先生のご講話にもございましたように、飯田クリニックは、河岸段丘の天龍河畔のこの地を拠点に、保健・医療・福祉事業を展開してまいりました。これが、飯田メディカルヒルズ（IMH）と命名した所以であります。

このたび、この〈CI〉を一新しまして、(IMH)

マークに全てのルーツであるIIC（飯田クリニック）を、画龍点睛としました。（図4）

この新しい〈CI〉は、このように「優しく、温かく、抱きしめる」をイメージしております。（図5）

キーワードとなっております2025年までには、社会情勢は目まぐるしく変化し、また、医療・介護環境も益々厳しくなっていくと考えられます。しかし、いかなる状況下にあっても、全職員が、この旗の下に一致団結して、怯むことなく、真っ正面から状況の変化に柔軟に対応してまいる覚悟であります。

また、私どもでは、IMH内に設置した、『2016保健・医療・福祉提供体制改革ビジョン推進会議』の提言に基づき、引き続き具体的な作業を鋭意推進してまいります。

つきましては、本年も変わらぬご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、皆様方の益々のご発展とご多幸をお祈り申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。



図1



図2



図4：新CI



図3

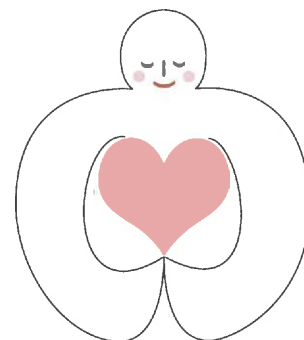


図5：新CIイメージ

ご来賓挨拶

～名古屋市立大学 理事長・学長 郡健二郎様～

当法人理事長 土屋隆の母校である、名古屋市立大学理事長・学長 郡健二郎様より、御祝文およびビデオメッセージによるご挨拶を賜りました。

ビデオメッセージは、年賀会当日、会場の皆様とともに拝見させていただきました。深く感謝申し上げます。

広域医療法人輝山会 理事長
土屋 隆 先生 ご机下

祝文

輝山会年賀会を盛会に開催されますことに心よりお慶び申し上げます。

土屋先生におかれましては、43年もの長きにわたり地域医療に貢献される一方、日本医師会常務理事などにおいて非凡なる才能をいかんとなく発揮され、輝山会をこれまでに大きくされました。その間に多くの優秀な医療人を輩出されてこられましたことは、ひとえに土屋先生の人望厚いお人柄によるものであり、心より敬意を表しております。

名市大におきましては、土屋先生は全学の保護者会である後援会会長としてご尽力賜っております。本年からはさらに、全学の同窓会である交流会会長をお願いすることになっております。

これら2つの会は、名市大をサポートしていただく主要な団体で、土屋先生に

それらの2つの会長を兼ねていただき、名市大のさらなる発展に向けて支援していただけることに深く感謝しております。

本来なら年賀会に参上してご挨拶をさせていただくべきところですが、当日は関西において他用があり、出席ができません。心よりお詫び申し上げます。

末筆ではございますが、輝山会のますますのご発展と、土屋先生はじめ職員の方々のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

平成29年1月吉日

郡健二郎

名古屋市立大学 理事長・学長
郡 健二郎 拝



院長就任のご挨拶

広域医療法人輝山会 輝山会記念病院 院長 露久保 辰夫



みなさま、あらためましてご挨拶申し上げます。このたび平成29年1月1日付けをもちまして、原修前院長の後任として輝山会記念病院の院長を拝命いたしました露久保辰夫と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。当院での勤務自体はすでに15年ほどになりますのでご存知の方も多いかとは存じますが、あらためて自己紹介を申し上げます。出身は東京で、平成元年に筑波大学医学専門学群を卒業後、国立病院医療センター（現 国立国際医療研究センター）の外科に入局し約12年間一般外科を中心に勤務した後、平成13年から当院にて仕事をさせていただいております。原前院長は大学の先輩でもあり、また研修医時代の指導医でもありましたので、当院との縁はその頃からあったのかも知れません。

さて昨今の社会情勢はといいますと、団塊の世代が後期高齢者になる2025年問題などで以前から指摘されておりますが、少子高齢化と人口減少が大きな問題となっております。この飯田下伊那地域でも、すでに人口減少の段階に突入しており高齢化も進行してきております。国は地域医療

構想のもと病床再編（病床削減）や地域包括ケアシステムの整備を進め、病院から在宅医療への移行が進められております。

このような社会情勢のもとでは、今後は当院を中心とする飯田メディカルヒルズ（IMH）の大きな特色である、「保健・医療・福祉」の三位一体体制がますます重要になってくると考えられます。これはまさに現在整備が進められている地域包括ケアシステムそのものであり、われわれIMHは地域医療機関との連携をはかりながら、地域の方々が安心して過ごせる医療体制を構築してまいりたいと考えております。そして地域の方々ができるだけ住み慣れた環境で過ごせるようにするために、当院の特色のひとつである質の高いリハビリテーションの提供がお役に立てるのではないかと考えております。またみなさまが健康で長生きしていただくために、日頃の健康維持のための健診センターの充実も目指してゆきたいと考えております。もちろん飯田下伊那地域の透析医療の砦となる透析センターを中心として、腎不全医療の発展にも引き続き貢献してまいる所存です。

当IMHは土屋隆理事長と原修前院長の体制のもと、順調な発展をとげてまいりました。今回院長職を引き継ぐにあたり、これまでの発展の歩みを途切れさせることなく継続して行かなければならない重責に身の引き締まる思いであります。なにぶんにも若輩者ではありますが、みなさまのご協力を仰ぎながら職務を遂行してまいりたいと存じます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成 29 年 飯田メディカルヒルズ年賀会

1月22日(日)、「シルクプラザ」に於いて、平成29年飯田メディカルヒルズ年賀会が開催されました。当日は、大変良い天気にも恵まれました。日頃、お世話になっている業者様をはじめ、137名のお客様にご来駕いただきました。

新春講話 話題「私のヒルズ」 話者 歌人 久保田 幸枝 先生



歌人 久保田 幸枝 先生

当院院歌の作詞者である久保田幸枝先生に新春講話をいただきました。昭和54年の宮中歌会始で選にあずかられ、その後3回、計4回の選にあずかられていらっしゃいます。昭和54年選にあずかられた、お題「丘」のお歌を職員の方の北澤奈菜が朗詠させていただきました。



昭和五十四年歌会始
お題「丘」
天龍の
水の面よりたつ
朝霧の
河岸段丘を
おしのぼる見ゆ
歌人 久保田幸枝



お題「丘」朗詠
総務課主任補 北澤 奈菜

新春講話
話題「私のヒルズ」
話者 歌人 久保田 幸枝 先生

◆ 来賓挨拶 ◆



名古屋市立大学大学院
医学研究科腫瘍・免疫外科学分野教授
中西 良一 様



長野県議会議員
古田 芙士 様



司会
悠水会施設長 宮島 幸彦
悠水会事務次長 関島 美佐



コーラス隊「グリーンエコー」と会場の皆様との「院歌」、「一月一日」斉唱

* 祝舞・御座付 *

祝舞「寿ぐ 輝山の華屋喜」



祝舞の紹介
春麗会花柳流師範
花柳寿三様

花柳 吉夫美輔 様 (ふみの会)
花柳 吉奈銀 様 (ふみの会)

与津乃波

花柳 壽春珠 様 (春麗会)
花柳 春輔 様 (春麗会)

葵 翔那美 様 (葵会)
葵 翔三和 様 (葵会)

御座付「江戸風流 初春や」



東京品川
まつ乃家 栄太郎 様



❖ 鏡開き ❖



(左より) (株)竹中工務店 名古屋支店 設計グループ長 斉藤憲司 様、(株)マスト 代表取締役会長 松下博人 様、ニプロ(株)メディカル営業本部 名古屋支店長 辻直宏 様、(株)熊谷組 建築部 作業所長 安宅徳彦様、旭松食品(株) 代表取締役社長 木下博隆 様、飯田信用金庫 松尾支店長 山下尚広 様、都築電気(株) 執行役員・名古屋支店長 島口裕美 様、宇佐美税理士事務所 所長 宇佐美基彦 様、新菱冷熱工業(株) 関東支店長 小倉博 様、パナソニック産機システムズ(株) 執行役員・中部支店長 壇上公司 様、(株)十六銀行 名古屋駅前支店長 押味佳孝 様、ALSOK長野(株) 代表取締役社長 飯塚由雄 様、(株)メディセオ 飯田支店長 和田和紀 様、飯田信用金庫 理事長 森山和幸 様、武井税理士事務所 所長 武井一男 様、(株)熊谷組 執行役員・名古屋支店長 岸研司 様、(株)飯田ケーブルテレビ 代表取締役社長 原勉 様、木下建設(株) 代表取締役社長 木下隆山 様、(株)日立製作所 中部支店長 福圓孝明 様、寿製薬(株) 学術部部长 内海勝彦 様、(株)八十二銀行 八幡支店長 塚田浩司 様、(株)竹中工務店 名古屋支店 豊田営業所長 杉坂正 様、日本ゼネラルフード(株) 執行役員 松永直樹 様、丸文通商(株) 松本支店 取締役支店長 長敏浩 様、(株)熊谷組 名古屋支店 営業部部长 徳田有希 様、アルフレッサ(株) 飯田支店長 白石健 様、(株)南信州新聞社 代表取締役 関谷邦彦 様

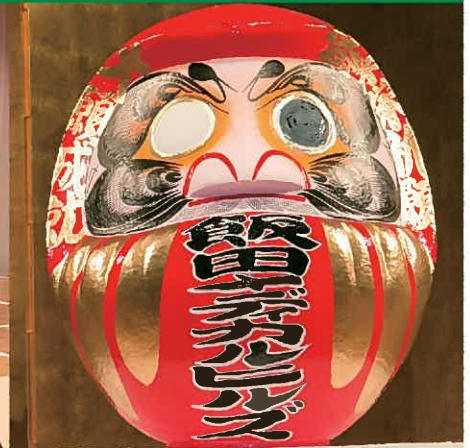


❖ 乾杯 ❖



乾杯のご発声
下條村村長
金田 憲治 様

・ ダルマの目入れ ・



来賓 28 名の方にダルマに願いを込めて目入れを行っていただきました。
今年もいいことがありますように♪



お年玉抽選会



進行

理学療法士 南嶋 将人 作業療法士 見波 香織

万歳三唱



毛賀区長
木下 秀文 様



サライ合唱

年賀会の締めくくりに、会場の皆様全員で大きな二重の輪を作り「サライ」を合唱しました。病院を支えてくださっている皆様と職員の温かい絆を感じることができました。



閉会の辞
副院長 前本 勝利



最後は副院長 前本勝利による閉会の辞で会は無事幕を閉じることができました。お忙しい中ご来駕くださった皆様、大変ありがとうございました。今年もどうぞ、宜しくお願い致します。

